

コンクリート構造物の耐震補強と構造物間詰グラウト



無収縮モルタル充填工法

流動性と充填性に優れたグラウト用無収縮モルタルを用いて、全てのコンクリート構造物の充填補修、耐震補強、鋼構造物の基礎、橋梁支承、逆巻・逆打ちグラウトに適用できる「無収縮モルタル充填工法」です。施工性に優れたプレミックスタイプで、水を加え容易に注入充填でき、ブリージングがなく、高強度で、表面の仕上がりに優れた工法です。

- ◎特長
- (1) 圧縮強度50N/mm²以上（材令28日）の高強度が得られる。
 - (2) プレミックスタイプの材料で膨張成分により収縮しない一体化施工ができる。
 - (3) ポンプ圧送に優れた材料で、分離抵抗性に優れた施工が可能。
 - (4) 流動性に優れ、作業性が良く、確実な充填施工ができる。
 - (5) プレミックスモルタルで、施工品質が安定している。
 - (6) 既設コンクリートとの付着性に優れた施工ができる。
- ◎適用
- (1) 広範囲なコンクリート構造物へのグラウト注入補修が容易にできる。
 - (2) 耐振補強用無収縮グラウト施工に、隙間なく施工できる。
 - (3) 鋼構造物の設置基礎、機械基礎及び橋梁支承グラウト施工。
 - (4) 逆打ち、逆巻きグラウト施工に隙間なく施工できる。
 - (5) 普通コンクリートに比べ高い強度が得られ、長期的に強度が安定している。

